



ハウス食品グループ本社<2810>、ギャバン<2817>をTOBで子会社化



ハウス食品グループ本社は、味の素の子会社で香辛料大手のギャバンをTOB（株式公開買付け）により完全子会社化することを決議した。親会社で55.05%を保有する味の素は応募の意向を表明している。ギャバンは上場廃止となる予定。

ギャバンは2003年1月に味の素と、2004年8月にはハウス食品と業務提携し、両社からの人材受入れのほか、ハウス食品を通じたギャバン製品の販売を手がけてきた。業務用香辛料の市場規模は成長を続けているものの他社との競争が激化。そんな中、ハウス食品はギャバンとの関係を強化し、グループの香辛料事業における地位確立を目指すこととした。

買付価格は1株あたり710円で、前日終値に対して18.33%のプレミアムを加えた。買付予定数は925万6730株（下限は558万8000株で上限は設定されていない）で、買付予定価額は65億7000万円。買付期間は2016年5月13日から6月23日まで。決済の開始日は2016年6月30日。